



万が一の山岳事故に備えて 合同で山岳救助訓練を実施

11月25・26日に足尾山で、石岡市消防本部・筑西広域市町村圏事務組合消防本部・茨城県防災航空隊による合同の山岳救助訓練が行われました。

今回の訓練は、ハンググライダーで飛行中に落下してしまった人を救助するという想定で実施。隊員には、現場の状況などは事前に知らされず、実際の救助活動と同様の環境で、訓練が行われました。

現場は徒歩でなければ入れない山の中。要救助者が木に引っ掛かり、救助するには見上げるほど高い木を登る必要があるシチュエーションです。わずかなミスが大げがにつながる可能性もあるため、訓練中は、終始緊張感が漂っていました。

救助後には県防災航空隊と連携を図り、要救助者を防災ヘリで搬送。災害や事故の状況によっては、複数の救助隊が連携をとって活動にあたることもあるため、今回のような大規模訓練は、貴重な機会となります。隊員は「救助された人が、1日でも早く社会復帰できるように、素早く安全に救助しなければいけない」と話します。

登山やスカイスポーツの人氣が高まる中、より安心で安全に楽しんでもらうため、消防隊は日々訓練に励んでいます。



▲スカイスポーツが盛んな八郷地区

令和3年石岡市の火災・救急・救助の件数

消防本部 警防課 TEL 23-0119

>> 火災件数は7件減少

▶令和3年中に発生した火災件数は25件で、前年の32件に比べると7件減少しています。うち、建物火災は15件です。

たき火の不始末やガスコンロの消し忘れが主な出火原因ですが、放火の疑いがある出火もありました。放火を防ぐためにも、屋外にごみや段ボールなどを放置しないようにしましょう。



件名	件数	
	R3	前年比
建物火災	15	▲1
林野火災	1	0
車両火災	5	▲2
その他	4	▲4
計	25	▲7

>> 救急出動件数は215件増加



▶令和3年中に発生した救急出動件数は3,434件で、前年に比べると215件増加しています。搬送人員は3,077人です。

件名	件数	
	R3	前年比
救急出動件数	3,434	215
救急搬送件数	3,052	178
不搬送件数	382	37
搬送人員	3,077	178

>> 救助件数は9件増加



▶救助出動件数は62件で、前年と比較すると9件増加しました。

近年では異常気象による大雨で、道路冠水や川の氾濫など、災害が多く発生しています。消防署では水難救助資器材を整備して水難事故に備えています。

		交通事故	火災	ガス酸欠	水難事故	機械事故	その他	合計
出動件数	R3	27	7	0	2	0	26	62
	前年比	4	▲2	▲2	2	0	7	9
救出人員	R3	11	2	0	1	0	19	33
	前年比	4	▲1	▲1	1	0	5	8

定期的な点検を!

あなたの家の
火災警報器



大切なのは、
一人ひとりの心がけ!



住宅用火災警報器の設置が義務化されてから10年が経過しました。皆さんのご家庭では定期的に点検していますか?

内蔵されているリチウム電池の寿命は10年とされています。

いざという時に作動しない、などということがないように、定期的に点検し正常に作動するか確認しましょう。

消防本部 予防課 TEL 23-0119